

予 算 要 求 資 料

令和4年度9月補正予算

支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農業振興費

事業名【新】フードバンク活動施設整備支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農産物流通課 流通企画係 電話番号：058-272-1111(内2855)

E-mail：c11444@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 10,000 千円 (現計予算額： 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	10,000	0	0	0	0	0	0	0	10,000
決定額	10,000	10,000	0	0	0	0	0	0	0

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

新型コロナや物価高騰の影響で生活困窮者や子ども食堂利用者が増加する一方、食品製造業者等からフードバンク団体への食料品の寄付が減少している。

このため、フードバンク団体を対象に、冷蔵・冷凍施設の整備を支援し、生鮮食品のロス削減と生活困窮者への食料供給の拡大を図る。

(2) 事業内容

ア 内容

フードバンクに寄付される農産物等の一時保管に必要な冷蔵・冷凍庫の購入・設置にかかる費用に対する補助

イ 事業主体

県内の農業団体等から農産物の寄付を受け、県内でフードバンク活動に取り組む団体等

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率：10/10

補助上限額：2,000千円

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	10,000	冷蔵・冷凍庫の購入費および設置費
合計	10,000	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

岐阜県食品ロス削減推進計画

1－(3) フードロスチェーンにおける食品ロス削減

2－(1) フードバンク活動・フードドライブ等の支援

(2) 国・他県の状況

国および他県における支援メニューに該当なし

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

事業主体は寄付食材の流通（一時保管、配送）を担っており、寄付食材の流通保管中のロスを防止するためには妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	フードバンク活動施設整備支援事業費補助金
補助事業者（団体）	県産農産物等を活用し、県内でフードバンク活動をする団体等 (理由) 寄付食品の調達と流通を担う団体であり妥当
補助事業の概要	(目的) 規格外農産物等のフードバンク活用の拡大 (内容) 冷蔵・冷凍庫の導入支援
補助率・補助単価等	定額・ <u>定率</u> ・その他（例：人件費相当額） (内容) 補助率 10 / 10 (理由) ボランティア団体に対する補助であり、事業効果を高めるためには、ボランティア団体に負担が生じないようにするため。
補助効果	農業者等によるフードバンク活動への取組み増加
終期の設定	終期 令和 4 年度 (理由) 新型コロナウイルス感染症の影響による支援のため

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか
 フードバンク活動における農産物等生鮮食品の利用を増やし、食品ロスを低減する取組みを拡大する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度実績	R3年度目標	R4年度目標	終期目標 (R4)	達成率
	直売所等が農産物等を供給するフードバンクの数 (延べ数)	/	/	/	10	

補助金交付実績 (単位：千円)	H30年度	R元年度	R2年度
	0	0	0

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。 指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 農業団体とフードバンクのマッチング体制の強化と取組み件数を増やし県内各地に拡大すること。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 新型コロナウイルス感染症の影響による事業のため単年で終了
--